

福岡県公安委員会活動状況

<定例会の主な議題及び要旨>

平成29年6月15日(木)

【協議事項】

1 警察職員の特別派遣について

(警備部)

警察本部から「警察職員の特別派遣について、御審議をお願いする。」旨の報告があり、本件は了承された。

【報告事項】

1 少年補導員制度発足50周年記念・第38回少年非行防止大会の開催について

(生活安全部)

警察本部から「7月1日、福岡市立東市民センターにおいて、第38回少年非行防止大会を開催する。特に本年は、少年補導員制度発足50周年を記念する大会となる。」旨の報告があった。

2 小郡市における母子殺人事件被疑者の逮捕について

(刑事部)

警察本部から「小郡警察署及び捜査第一課は、平成29年6月6日、自宅において妻の頸部を圧迫して殺害した事件について、6月8日、小郡市居住の警察官を殺人で逮捕した。」「本県警察官が、重大な犯罪の被疑者として逮捕されたことについては、大変重く受け止めており、職員の内部処分については、捜査の状況を踏まえ、厳正に対処する。県警察においては、6月8日に緊急の本部長通達を発出し、全職員に対して、職員が自らの職務を全うし、成果を上げ、県民の皆様の信頼を得るよう指示したところである。今後は、規律を厳正に保持し、組織を挙げて非違事案防止に努めていく。」「事件の全容については、捜査の中で明らかにし、厳正に対処していく。本件に限らず、最近、様々な非違事案が続いている。非違事案の絶無を目指し、組織の綱紀粛正を図るとともに、単に非違事案を起こさないというだけではなく、きちんと職務を全うし、仕事で成果を出して信頼回復に努めたい。」旨の報告があった。

公安委員から「近隣住民の中で、事実かどうかわからない情報が出回っていると聞いている。危惧していたことだが、スキャンダラスな根も葉もないことが広がっているような状況だと思う。なおさら、真相をきちんと解明された流れの中で発表し、地域住民に納得してもらわなければならないと思う。」「捜査状況について警察の方からしっかり途中経過を説明すれば、そのようなものを静めることになるのではないか。」旨の発言があり、警察本部から「捜査状況等を、公判が開かれる前の段階で出すことは、公判維持への影響から慎重に考えている。ただ、明らかに虚偽の内容が流布されている状況においては、それを否定する必要と、公判維持とのバランスを考慮した上で行うこととなる。」旨の説明があった。

公安委員から「記者会見では警務部長から謝罪がなされたが、その経緯はどのようなものであったのか。」旨の発言があり、警察本部長から「会見時点で判明している事案の概要や本県における過去の対応状況を踏まえ、本部長である私が指示して警務部長並びに首席監察官による会見としたものである。」旨の発言があった。

公安委員から「今年に入り、非違事案が連続発生している中で、6月8日には現職警察官が殺人事件で逮捕されるなど、極めて憂慮すべき事態である。こうしたことを踏ま

え、福岡県警察を管理する立場にある福岡県公安委員会として次の3点をお願いする。一つ目は、現在、捜査中の通信指令課巡査部長による殺人事件については、全容の解明に全力を尽くしていただきたい。二つ目は、警察組織内の綱紀粛正を今一度図るとともに、県民の信頼回復に向け、仕事で成果を出していただきたい。三つ目は、一方、多くの職員は、日夜、治安維持のため職務に邁進していることから、くれぐれも士気が低下することのないよう、特段の配慮をしていただきたい。以上、3点について強くお願いする。」旨の発言があった。